

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりプロジェクト		実施期間	H23～H29	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産業である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。</p> <p>そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図るとともに、当町のもう一つの主要産業である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」を目指し、各産業の振興を図るとともに、各産業が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを目指す。</p>							
	総事業費（千円）	228,484	本年度事業費（千円）	64,013	交付金額（千円）	25,025		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	優良産品認定事業	関連事業	町内で製造し、販売される産品を優良産品として認定する。		優良産品認定 40事業者、101品目。			
	与謝野自慢開催事業	交付対象事業	都市部で与謝野町PRを行う。		10月20、21日に大阪府堺市で実施。約2,028人来場。			
	観光宣伝事業	交付対象事業	観光分野で与謝野町のPRを行う。		観光パンフレットなどの増刷。			
	観光施設整備事業	交付対象事業	観光施設の整備。		道の駐車場の整備など。			
	クアハウス岩滝整備事業	交付対象事業	温泉施設の整備。		駐車場の舗装、温泉用予備ポンプ整備など。			
	中小企業振興事業	交付対象事業	中小企業振興基本条例に謳う地域循環型経済の推進のために重要な役割を果たす町内事業者への支援事業。		創業支援、人材育成、新商品開発など22件（交付対象のみ）。			
	農業振興地域整備計画策定事業	交付対象事業	新町の農業振興地域整備計画の策定。		与謝野町農業振興地域整備計画の策定業務。			
	実のなる森づくり事業	交付対象事業	有害鳥獣対策。植栽事業。		1箇所実施 栗20、ケヤキ10。			
	食と健康の拠点施設運営事業	関連事業	食と健康をテーマにした施設の運営。		平成24年度利用者数 のべ60,621人。			
住民 協働 事業	有害鳥獣防除施設設置事業	交付対象事業	有害鳥獣被害を防ぐための防除施設の設置。		9団体 施工延長約35,600m（事業全体）。			
	有害鳥獣捕獲事業	交付対象事業	有害鳥獣被害を防ぐために処理・捕獲事業を委託。		処理：大型159頭、小型181頭。 広域捕獲事業7回のべ83名参加。くくりなわ購入補助等。			
	パイプハウス整備事業	交付対象事業	多額の初期費用を要するパイプハウス農業を支援することで農家の経営安定を図る。		パイプハウス設置のための補助。			
	自然循環型農業推進事業	交付対象事業	有機肥料による自然循環型農業の推進。		京の豆っこ米の都市部量販店での店頭試食販売など。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)					
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）	
住民協働事業	オータムフェスティバル開催事業	関連事業	町内で開催する観光・産業のPRイベント。	11月11日に開催。約4,000人来場。	
	体験型観光農園事業	関連事業	都市部の住民を対象とした体験型観光農園事業。	次年度以降調整中。	
	ちりめん街道活性化事業	関連事業	国の重要伝統建造物群保存地区に指定されている「ちりめん街道」の活性化事業。	商工会青年部による「ちりめん茶屋」の運営、ガイド事業の実施など。	
	丹後ファッションウィーク開催事業	関連事業	丹後ちりめんの認知度向上を目指し事業展開を行う。	10月31日～11月2日丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」に参画。商談件数250件（全体）など	
住民が取り組む事業	無農薬・有機農業による安全な地域づくり事業	関連事業	この地域に合った無農薬栽培農法の研究を行う。	概ね3カ年程度で成果を挙げるよう試験中。平成25年度が最終年度となる予定。	
成果指標①	成果指標の目標数値	観光客の増 (H22の65.5万人をH24に114万人に増)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	平成24年度70.8万人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) リフレかやの里の再開や鳥取豊岡宮津自動車道、与謝天橋立ICの開通により近年の減少傾向から増加に転じている。引き続き平成21年度に策定した観光振興ビジョンの具体的な実行により観光入込客数の増を図り、目標値の達成を目指す。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由) 大きな変化を生む要因がなく、観光客の入込み数の大幅増が見込みにくい状況ではあるが、H24は近年の低調な入込から増加に転じている。	(時期)	平成25年度
成果指標②	成果指標の目標数値	一人当りの観光消費額の増加 (H22の537円をH24に570円に増)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	平成24年度531円
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) リフレかやの里の再開や鳥取豊岡宮津自動車道、与謝天橋立ICの開通により近年の減少傾向から増加に転じている。引き続き平成21年度に策定した観光振興ビジョンの具体的な実行により観光入込客数の増を図り、目標値の達成を目指す。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由) 大きな変化を生む要因がなく、観光客の入込み数の大幅増が見込みにくい状況ではあるが、H24は近年の低調な入込から増加に転じている。	(時期)	平成25年度

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ③	成果指標の目標数値	農業担い手の確保 (H22に177人をH24までに183人に増)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	170人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	農業の担い手の高齢化などにより、若干の減少傾向にあるが、農業運営の形態も多様化する中、引き続き自然循環型農業の推進や有害鳥獣対策などの取り組みなどにより、農家のやりがいと効率的に農作業に集中できる環境づくりが行い、農業に従事者を増やすよう努める。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	農業の担い手の高齢化などにより、指標は減少傾向にあるが、今後はより効率的な農業運営を行えるように集落営農を取り入れ集約化を図るなど、農業運営の形態も多様化する中で、個別の件数の積上げである従前の指標を成果とするのは現状とマッチしないため、指標の見直しを行う必要がある。	(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	特色ある売れる米づくりの推進 (H22の146.8haをH24に183haに増)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	平成24年度149.7ha
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	野田川・岩滝地域の各農家も『京の豆っこ米』の取り組みを徐々に拡大してきたため順調に推移してきたが、普及が一巡したこともあり、横ばいとなっている。新規で豆っこ米の栽培に取り組む農家が増えるよう営農指導を強化するなど、取組強化を図る。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	繰り返しになるが、野田川・岩滝地域の各農家も『京の豆っこ米』の取り組みを徐々に拡大してきたため順調に推移してきたが、普及が一巡したこともあり、横ばいとなっている。新規で豆っこ米の栽培に取り組む農家が増えるよう営農指導を強化するなど、取組強化を図る。	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	観光客の増については、近隣と比しても当町が伸び悩んでいるというのが実際ではあるが、リフレかやの里の再開や鳥取豊岡宮津自動車道、与謝天橋立ICの開通により近年の減少傾向から増加に転じている。平成21年度に策定した観光振興ビジョンによる具体的な取り組みに加え、京都府の推し進める「海の京都プロジェクト」など、地域の魅力発信により地域活性化を目指す取組が動き始めており、町と観光協会、地域住民が一体となった、新たな観光振興施策を推し進めていく。 また、農業分野においては、自然循環型農業などの積極的な取組により、都市部の消費者にも支持されるような農産物を生産することができ、そのことが農家のやりがいに繋がり、農業従事者の増加に繋がることを期待する。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	交付対象事業で産業基盤の整備を行い、関連事業で住民や民間事業者と協働して与謝野町のPR事業等を行い、都市部での与謝野町や製品の認知度を高めている。
	府と市町村等との連携に資する成果	地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。
	住民の自治意識を高める成果	産業分野は住民生活にも大きく関わる分野であるため、住民自ら積極的に取り組む事業も多く、意識は高い。そういった事業に対して町が様々な支援を行うことで、住民の取組も活性化していく。
	リーディング・モデル成果	有害鳥獣対策の分野や新たな無農薬栽培農法の研究等、特に農林業分野での新しい取り組みを行い、今ある問題の解決を積極的に行っている。
	広域的波及成果	産業分野は地産地消や循環型経済、自然循環型農業の推進など、地域全体に効果が還元できるような取組を目指している。
	行財政改革に資する成果	観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。